



発表会で練習の成果を披露

三里木保育園発表会

三里木保育園で発表会が12月12日、開催されました。

園児が日頃の練習の成果を保護者に披露しました。新型コロナウイルス感染症対策をした上で開催され、子どもたちのダンスや劇などの発表を保護者が見守りました。

ダンスをした大山陽菜乃さん(緑陽台)と劇で犬役をした松田愛梨さん(光2町内)は「楽しかった」と笑顔で感想を話しました。



元氣よく歌を歌う子どもたち

長年の活動に感謝

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

令和2年度のボランティア功労者に対する厚生労働大臣賞を11月13日、本町の「きくよう虹の会」が受賞しました。きくよう虹の会は、地域住民に障がい者と障がい者の自立支援についての正しい理解を周知、啓発することを目的に活動しています。障がいを持つ人が誰でも自由に参加できる場を作り、障がいを持つ皆さんの日ごろの励みになるように月2回ほど菊陽町老人福祉センターで太鼓の練習を行っています。こうした、24年間の活動実績が評価されました。



虹の会代表者の川端フジノさん(光団地)



ゴーヤーカーテンコンテスト受賞者決定

令和2年度菊陽町ゴーヤーカーテンコンテスト表彰式

環境生活課 環境係 ☎(232)2114

令和2年12月16日に令和2年度菊陽町ゴーヤーカーテンコンテスト表彰式を開催しました。ゴーヤーカーテンには、日差しを遮る効果や、蒸散する水分による冷却効果があります。そのため、誰もが取り組みやすい省エネ・温暖化対策の1つとして、町では、ゴーヤーカーテンを推奨してきました。今年度も昨年に続き、町内を対象とした「ゴーヤーカーテンコンテスト」を開催しました。応募いただいた作品から審査の結果、右記のとおり各受賞者を決定し、表彰状と副賞の授与を行いました。

	家庭部門	団体部門
最優秀賞	紫藤 英二 様 (南方)	学童クラブきくよう タンポポ育成クラブ 様
優秀賞	矢津田 源一 様 (新山)	菊陽地域生活支援センター 様
入賞	川並 諒 様 (光2町内)	ふれあい交流・ 福祉支援センター 様
	末次 恵子 様 (光1町内)	菊陽町社会福祉協議会 様
	相馬 てるみ 様 (南方)	



広報きくように掲載していない他の表彰者の入賞作品は、菊陽町公式ホームページにおいて、ご覧になれます。
(URL:<https://www.town.kikuyo.lg.jp/kiji0032752/index.html>)

来年はあなたもゴーヤーカーテンにチャレンジしてみませんか。



町公式ホームページ
QRコード

ラジオで事故防止呼びかけ

交通安全協会女性の会ラジオ出演

RKKラジオ「福ミミらじお」の生放送収録が12月17日、菊陽町中央公民館で行われました。番組には大津地区交通安全協会菊陽女性の会の酒井恵会長が出演。番組内ではラジオパーソナリティの進行のもと、同会の活動紹介や高齢者の交通事故防止を呼びかけました。

酒井会長は「とても緊張したが、多くの皆さんに周知ができてよかった。これを機に交通安全について関心を持ってもらいたい」と話しました。



ラジオ番組の生放送に臨む酒井さん(写真左)

幸多き一年になるよう願いを込めて

地域学校協働活動の一環として門松作りを実施

子どもたちの健やかな成長と新型コロナウイルス感染症の終息を願い、12月13日武蔵ヶ丘北小学校で門松作りが行われました。参加者は地域住民や保護者、教職員など計22人。同校で初めてとなる門松作りは、他校での制作経験者を招き、校門前に2メートルほどの高さの立派な門松を作り上げました。大津剣さん(にじの森)は「武北に初めて門松が飾られます。生命力の強い竹のように子どもたちがまっすぐ成長してくれることを願うばかりです」と話しました。



門松作りの様子

入賞作品の紹介

家庭部門 最優秀賞作品

紫藤 英二さん



地球温暖化防止、直射日光による暑さの防止、カーテンによる緑の癒しを楽しむために緑のカーテンを家一面に作っています。

種をポットで育てるところから始め、水やりには雨水や炊事で使用した水を活用されたそうです。

育ったゴーヤーの実をジュースにするなど、工夫して料理を行ったり、カーテン下スペースでバーベキューをしたり、緑の楽しみを体感したそうです。

団体部門 最優秀賞作品

学童クラブきくよう タンポポ育成クラブ



子どもたちにも一緒に体験・体感し、「生活の知恵」を学習するためにカーテンを作っています。

朝夕の水やりは子どもたちと行い、会話も弾んだとのこと。育った実は子どもたちのお迎えの際に、保護者と一緒に収穫し、家庭でそれぞれ調理し食べたそうです。

審査では、地球温暖化対策、カーテンの作成が、子どもたちへの学習・コミュニケーションの場となったことが大変評価されました。



広告の魅力を伝える

菊陽町図書館で「少女雑誌の中に見る広告展」

少女雑誌に掲載された多数の広告を紹介する企画展が3月22日まで、菊陽町図書館で行われています。広告は年代ごとに展示され、その時代の流行や世相を読み取ることができます。

菊陽町図書館は、明治から昭和期の少女雑誌(約3千誌)や少女雑誌の付録など多数の貴重な資料を所蔵しています。

期間中は定期的に少女雑誌を入れ替えて合計150点を展示。何度来館しても楽しめる作りになっています。



実際に展示されている少女雑誌の広告

防火の誓い

三里木保育園で避難訓練

三里木保育園で避難訓練が1月15日、行われました。参加した園児は計109人、職員20人。避難訓練は給食室から出火した想定で行われました。園児たちは先生の指示をしっかりと聞いて園庭にクラスごとに集合。田中健園長からの火事の原因の説明を真剣に聞いていました。その後ハッピー姿の幼年消防クラブ員(年長児20人)が大きな声で「絶対に火遊びはしません」「お父さん、お母さん、先生方の教えを守ります」などと「防火の誓い」を宣誓しました。



真剣に「防火の誓い」を宣誓する子どもたち

アイスクースはフタがないのになぜ冷える?

第80回科学展で県知事賞

菊陽中部小学校5年生の**いちやすこ**さん(宮ノ上)が令和2年度熊本県科学研究所展示会で熊本県知事賞を受賞しました。普段利用するコンビニのアイスクースを見て疑問に思ったことを研究のテーマに掲げ、夏休みの自由研究で作成したものです。12月22日に役場を訪れ、町長と教育長に受賞の報告をしました。

一安さんは「研究は、たくさん温度を計ったりして大変だったが、(実験の結果が出て)達成感があった。また研究に挑戦したい」と話しました。



受賞の報告に来庁した一安さん(写真中央)

将来の夢、やりたい仕事見つかった!

武蔵ヶ丘北小学校 キャリア教育

「子どもたちよ! 大志を抱け!」をテーマに、さまざまな職種の人をゲストティーチャーとして招いたキャリア教育が12月18日、同校で行われました。地域学校協働活動の一環で、講師は農業や宮大工、伝統芸能など6人。5、6年生129人は、希望する講話を2回聞き、講師は仕事のやりがいや、仕事をする上で大事なことなど実演を交えながら熱心に話しました。児童の一人は、「お話を聞いて看護師になりたい気持ちが強くなりました」と感想を述べました。



講話をする熊本セントラル病院の城野副院長

くまモンがやってきた

菊陽南小学校の学童が紹介されました

R K Kで放送される県政広報テレビくまモンマイルジャンプ!の取材が1月14日、菊陽南小学校の学童保育施設「みなみっ子クラブ」で行われました。

みなみっ子クラブは熊本地震後の被災者の交流の場であった光の森仮設団地と宇土市高柳仮設団地の木造談話室「みんなの家」を解体・移築して整備したものです。

今回の取材は、くまもとアートポリス事業の一環として、当初の役割を終えたみんなの家を新たな地域づくりの拠点として利活用する事業の県内初の事例であることや、地域の公民館以外に利活用する事例ということもあり、取り上げられることとなりました。

諸泉苑子さん(戸次)は「くまモンが来て嬉しかった。学童では宿題をして、友達とバドミントンや卓球をして遊んでいます。とても楽しいです」と話しました。

放送は2月3日の予定ですが、Web上でも公開されますので、ぜひご覧ください。(URL: <https://rkk.jp/kumasma/broadcast/index.html>)



くまモンとみなみっ子クラブの子どもたち



かわいいくまモンに笑顔があふれた

標語作品が最優秀賞受賞

「心のきずなを深める」ための標語作品

菊陽中学校3年生の**おはら**さん(柳水)が令和2年度「心のきずなを深める」ための標語作品で最優秀賞を受賞しました。「心のきずなを深める月間」の取組の一環として、児童生徒同士の心のきずなを深め、いじめを許さない意識を高めるために県教育委員会が実施しているものです。

小原さんは「今までの自分の経験をもとに書きました。私自身もこれからの学校生活に生かしていきたいです」と話しました。



菊陽中学校の終業式で表彰される小原さん

犯罪をなくすために大切なこと

作文コンテストで県知事賞を受賞

武蔵ヶ丘小学校6年生の**ふくどめ**さん(光4町内)が、第70回「社会を明るくする運動」作文コンテストで県知事賞を受賞し、12月22日に役場を訪れ、町長と教育長に受賞の報告をしました。この作文コンテストは、日常の家庭生活や学校生活で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りに関して考えたことがテーマ。福留さんは「作文のテーマは難しかったが、自分が書きたいことが書けた。受賞できてうれしい」と話しました。



受賞の報告に来庁した福留さん(写真中央)